

日本植生史学会ニュースレター

No.24 August 29, 2011

第8期会長・評議員選挙結果報告, 第3回学会賞・第1回論文賞選考結果報告, 第26回日本植生史学会大会のご案内(第2報), 第33回日本植生史学会談話会のご案内など

第8期会長・評議員選挙結果報告

2011年7月8日に第8期会長・評議員選挙の開票を厳正に行いました。その結果、次期会長に守田益宗氏, 次期評議員に南木睦彦, 松下まり子, 紀藤典夫, 辻 誠一郎の各氏が当選されましたのでご報告します。

会長選挙 投票総数 82 票

1 守田益宗 15 票 (年長者優先のため守田氏が当選), 1 能城修一 15 票, 3 高原 光 12 票

評議員選挙 投票総数 328 票 (上位 4 名が当選)

1 西田治文 18 票 (次期事務局長就任のため辞退), 2 南木睦彦 16 票 当選, 2 能城修一 16 票 (次期編集委員長就任のため辞退), 4 松下まり子 12 票 当選, 5 佐々木由香 11 票 (次期行事委員長就任のため辞退), 6 紀藤典夫 10 票 当選, 7 辻 誠一郎 9 票 当選 (年長者優先のため辻氏が当選), 7 大井信夫 9 票, 7 守田益宗 9 票

選挙管理委員長 松本みどり

第3回学会賞・第1回論文賞選考結果報告

2011年7月1日に第3回学会賞と第1回論文賞の選考を厳正に行いました。その結果, 第3回学会賞を高原光氏に, 第1回論文賞を以下の2本の論文に授与することが決まりましたのでご報告します。なお, 授与式と受賞記念講演は, 11月5日の第26回青森大会にて執り行います。

第3回学会賞受賞者 高原 光氏

第1回論文賞受賞論文

第17巻第1号 工藤雄一郎・小林謙一・江原 英・中村俊夫「栃木県小山市寺野東遺跡から出土した縄文時代後・晩期の木組遺構の高精度年代測定」

第18巻第1号 渋谷綾子「日本列島における現生ゲンブン粒標本と日本考古学研究への応用—残存ゲンブン粒の形態分類をめざして

第3回学会賞・第1回論文賞審査委員長 南木睦彦

第26回日本植生史学会大会のご案内(第2報)

第26回日本植生史学会大会を下記の日程で開催します。

◆日時

11月5日(土) 午前:幹事会, 評議員会, 長勝寺半解体修理現場見学会(予定)
午後:公開シンポジウム, 論文賞・学会賞授与式及び受賞記念講演, 懇親会
11月6日(日) 午前・午後:一般研究発表(口頭・ポスター), 総会

◆会場 弘前大学創立50周年記念会館(青森県弘前市文京町1番地 弘前大学文京町地区内)

◆主催 日本植生史学会・弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター, 後援 青森県立郷土館, 弘前大学

◆大会実行委員 関根達人(委員長), 上條信彦, 杉野森淳子, 伊藤由美子, 根岸 洋, 片岡太郎, 清水 香, 能城修一, 佐々木由香, 近藤 敏

◆費用(費用はすべて当日徴収になります。金額はすべて予定です。)

参加費: 一般会員・非会員:3000円 学生会員:1000円(要旨集代を含む)

懇親会費: 一般会員・非会員:5000円 学生会員:3000円

◆大会チラシ 学会 Web サイト (<http://www.hisbot.jp/>) からダウンロードできます。配布にご協力をお願いします。

◆**宿泊** 土手町および弘前駅周辺に宿泊施設は多数あります。なお懇親会参加者限定でプランを用意しました。

場所 弘前パークホテル（青森県弘前市土手町 126 懇親会会場と同じです TEL 0172-31-0089）

宿泊料 5500 円（朝食付）

予約方法（電話限定）「日本植生史学会懇親会参加者」であることを告げて下さい（他のプランとの併用はできません）。

予約締め切り 10 月 14 日（金） 定員はありませんが、各自、お早めにお申し込み下さい。

◆**交通案内**

■ J R 弘前駅・弘前バスターミナルからのアクセス

徒歩：約15分、バス：約10分 3 番のりば小栗山線「弘前大学前」下車、タクシー：約 5 分 約780円

■ J R 弘前駅までのアクセス

JR新青森駅から：約40分、青森空港から：空港連絡バス 約 1 時間（青森空港-弘前駅間 1000円）、高速バス：

盛岡・仙台・東京品川・横浜・上野から

車：5 日（土）・6 日（日）のみ学内駐車場が利用できます。正門入って右側の駐車場のみ開放されます。

◆**大会プログラム**

○11月5日（土）

9：00～10：30 幹事会（会議室）、11：00～12：30 評議員会（会議室）

12：00～ 受付

13：00～17：00 公開シンポジウム

テーマ「ヒバ、五千年の歴史と文化」

オーガナイザー 鈴木三男（東北大学植物園）

趣旨：ヒノキアスナロ（通称：ヒバ）は、青森に多く生育しており、ヒバは木材資源として多岐にわたり利用されている。これまでの発掘調査から、古代以降ヒバ材が多用されていることがわかっている。さらに近年の調査では、青森県においてヒバの利用は縄文時代に遡ることや、古代では一遺跡から出土した木製品の樹種の大半をヒバで占める事例が確認されている。このような調査事例を基に、人とヒバの関わりについて、考古学・歴史学・年輪年代学・民俗学の立場から論ずる。

話題 1 近現代のヒバ製民具—下北地方の例が示唆するもの— 名久井文明（物質文化研究所 一芦舎）

話題 2 東北地方を中心にみたアスナロの木材利用史 能城修一（森林総合研究所）

話題 3 近世津軽の植生と森林利用 長谷川成一（弘前大学）

話題 4 青森のヒバの歴史を年輪に読む 箱崎真隆（東北大学）

パネルディスカッション

17：00～18：00 論文賞・学会賞授与ならびに受賞記念講演

18：30～20：30 懇親会

○11月6日（日）（詳細はプログラムでご確認下さい。個人発表申込み受け付け後、プログラムを作成し郵送します。）

8：30～ 受付

9：00～11：00 口頭発表

11：00～12：30 総会・昼食

12：30～14：00 ポスター発表

14：00～16：00 口頭発表

◆**大会参加及び一般研究発表の申込み**

一般研究発表については、A「生態、古生態、環境変動」、B「人と植物の関係史」、C「分類・系統、生物地理」のテーマ別に、口頭発表とポスター発表を募集します。大会参加及び一般研究発表希望者は9月10日(土)までに下記要領でお申込み下さい。講演要旨は下記要領にて作成し、9月30日(金)必着でメールにてお送り下さい。

口頭発表：時間は15分、発表の際はパワーポイント（Windows・Mac双方対応）をご使用下さい。申込み多数の場合、プログラムの関係でポスター発表にまわってもらうこともありますので、ご了承下さい。

ポスター発表：ボードの大きさは幅90cm、高さ180cm（変更があった場合は発表者にご連絡します）。

◆**申込締め切り**

一般研究発表 9月10日（土）必着

講演要旨 9月30日（金）必着

大会参加・懇親会・長勝寺見学会参加 10月14日（金）必着（長勝寺見学会は先着順で定員になり次第締め切ります）

◆申込方法：次の事項をメールでtaikai26@hisbot.jp 第26回大会実行委員会宛までご連絡下さい。メールのタイトルを「第26回大会申込み」として下さい。メールアドレスをお持ちでない方は、郵送にて下記送付先までお送り下さい。

①氏名・所属，②連絡先（住所，電話番号，E-mail），③会員種別（一般会員／学生会員／非会員），④懇親会の参加／不参加，⑤6日昼食の弁当の要/不要，⑥一般研究発表の有無

なお，一般研究発表をされる方は，以下の項目も併せてご連絡下さい。⑦発表形式（口頭／ポスター），⑧発表タイトル，⑨発表者・所属（複数の場合は講演者を明記のこと），⑩発表分野（A「生態，古生態，環境変動」／B「人と植物の関係史」／C「分類・系統，生物地理」）申し込み時の内容でプログラムが作成されますので，変更がないようご注意ください。また，下記の長勝寺見学会を希望される方は，⑪に「長勝寺見学会参加希望」と記載して下さい。

◆講演要旨執筆要領

講演要旨は次の要領に従い作成し，提出して下さい。講演要旨はPDFファイルにて第26回大会実行委員会アドレスに送付して下さい（MS-Wordファイル不可）。PDFファイル作成時には以下の点をご注意願います。

- 1) 講演要旨原稿はAdobe Acrobat Reader 4.0以上で表示・印刷可能なPDFファイルで提出して下さい。
- 2) ファイルサイズは3.0Mバイト以内で作成して下さい。
- 3) ページ番号等を学会で挿入しますので，パスワード等のセキュリティ設定は行わないで下さい。「印刷」，「テキストとグラフィックの選択」，「文章の変更」，「注釈とフォームフィールドの追加と変更」等は許可して下さい。
- 4) 作成したPDFファイルを自分で印刷し，図表に十分な解像度があるか，文字化けはないか確認して下さい。PDFでの送付ができない場合のみ，印刷した原稿を郵送で下記住所までお送り下さい。

原稿は，A4判白紙を縦置き・横書きで使用します。初めに和文で表題と著者名（所属）を，次に英文で著者名と表題を書き，1行あけて本文を始めて下さい。行数と1行の文字数は自由ですが，38行×45字程度を目安として下さい。本文に図表を入れることができます。余白は上下3cmずつ，左右2.5cmずつお取り下さい。枚数は2ページ以内とします。なお，提出いただいた原稿はそのまま印刷されます。

◆申込・講演要旨郵送先：〒036-8560 弘前市文京町1番地 弘前大学人文学部内 上條信彦宛

◆特別展「北日本の木の文化史」の開催

弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センターでは，大会開催に合わせ，特別展を開催します。

日時：2011年10月21日（金）～11月27日（日）（予定）

場所：弘前大学人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター（弘前大学 総合教育棟2階）

青森県では近年，土井I号遺跡（縄文）・岩渡小谷（4）遺跡（縄文）・十三盛遺跡（古代）・新田（1）（2）遺跡（古代）・大光寺新城跡遺跡（中世）・史跡 津軽氏城跡（弘前城跡）（近世）など多くの木製品が見つかります。これらの資料を中心とした木製品利用について展示を予定しています。

◆長勝寺半解体修理現場の見学会

内 容：長勝寺は，津軽氏の祖である大浦光信の菩提を弔うために建立された曹洞宗の寺院です。重要文化財の建造物が9棟あり，1997年から三門の屋根，津軽家霊屋5棟，本堂，御影堂の修理が進められています。現在2009年より庫裏の半解体修理が行われ2011年12月完成予定です。解体修理の結果，大黒柱の材料はクリ，そのほかの柱はヒバであることが分かりました。

日時：11月5日（土）10:00～11:30 10:00 現地集合

交通：JR弘前駅前6番バスのりば「四中校行」9:26発から「茂森町長勝寺入口」下車，徒歩15分

定員：定員30名（解体修理現場 無料 長勝寺本堂拝観の場合 300円）

申込締切：10月14日（金）（先着順で定員になり次第締め切ります）

申込方法：上記大会申込方法を参照して下さい。

◆大会に関する連絡先 お問い合わせ等は taikai26@hisbot.jp 大会実行委員までお願いします。

第33回日本植生史学会談話会のご案内

テーマ：「下北半島猿ヶ森砂丘のヒバ埋没林」

内 容：下北半島太平洋岸の猿ヶ森砂丘には，約2000～500年前のヒバ埋没林があります。この埋没林はヒバの枯死木が立ったまま砂丘砂に埋もれているという，全国的にも極めて珍しいものです。これらのヒバは樹齢300～400年，直径100cm以上に達しているものもあります。現在，この砂丘地帯に自生するヒバはありませんが，かつてはヒバが生い茂る森林が形成されていたと考えられます。ヤマセが吹きつけ，砂丘砂も侵入する厳しい環境で，ヒバはどのような姿で生き続けてきたのか，ぜひ皆様にもご覧頂きたいと思えます。

◆世話人：箱崎真隆・三宅徹也・伊藤由美子

◆日程：11月6日(日)～11月7日(月)の1泊2日

11月6日(日) 植生史学会大会終了後出発(16時30頃) 馬門温泉富士屋ホテル(野辺地町)泊

11月7日(月) 巡検 冷水峠(ヒバ林観察) 猿ヶ森ヒバ埋没林見学(沢沿いを歩くため、長靴をご用意下さい)
～青森駅(16時～16時半)～新青森駅(16時半～17時)～弘前大学解散(17時半～18時)

天候や現地の状況等により、コースを変更することもあります。帰路は青森駅・新青森駅を経由しますが、交通事情等で遅れることが予想されますので、時間的な余裕を考慮して交通機関のチケットをご予約下さい。

◆参加費：15,000円～20,000円(バス代、宿泊費(一泊2食)、昼食代込み)

◆定員：25名程

◆申込締切：9月20日(火)ただし定員になり次第締め切ります。

◆申込先：danwa33@hisbot.jp

◆巡検申込方法：メールのタイトルを「第33回談話会申込み」として、次の事項を記載の上、danwa33@hisbot.jp宛お申込み下さい。①氏名・所属、②連絡先(住所、電話番号、E-mail)

メーリングリスト不達者のお知らせ

以下の方々はメーリングリストによるメールが不達または未登録のためにニュースレター等が届かなくなっております。メールアドレスをご存知の方はご本人に日本植生史学会事務局 hisbot@univcoop.or.jpへ登録アドレスをお知らせいただくよう、ご連絡をお願いします。

朝川毅守、阿部美和、網谷克彦、荒井 格、荒川隆史、磯田喜義、岩淵祐子、大川 徹、大西智和、大野啓一、岡村道雄、小川 誠、荻巣樹徳、奥田昌明、鹿島 薫、梶原 洋、勝山百合、加藤勝仁、金井慎司、叶内敦子、上條朝宏、鴨井幸彦、河野昭一、金 帛範、栗原伸好、車崎正彦、黒川 彰、桑原正明、小泉明裕、後藤香奈子、此松昌彦、近藤錬三、佐藤真由美、佐藤伸司、佐藤芙美、島田亮仁、白井善吾、杉本善彦、関戸信次、芹沢俊介、早田雅子、田井知二、田川裕美、千葉 寛、中川治美、中静 透、中田節子、中原知子、中村俊彦、中村幸人、新山雅広、西山正徳、野中理加、菱田 量、平川一臣、堀内順治、堀口万吉、本間航介、前田亜希、松葉千年、三木栄二、南 靖子、安井宣也、山田昌久、山本秀夫、山本浩久、山本悦世、湯本貴和、吉羽興一、若松伸彦、渡邊定元、渡邊絵里子

「Wood and Traditional Woodworking in Japan」の割引販売のお知らせ

ドイツ人の家具職人 Mechtild Mertz 氏が、京都大学に留学して、現在の日本の木工芸における木材利用をまとめた本「Wood and Traditional Woodworking in Japan」が刊行されました。

<http://www.kaiseisha-press.ne.jp/cat.pl?type=view&htma=2&RecordID=1301275458&bmode=&btype=index&begin=0&line=15&srtidx=3&srtmod=down>

中身は英文です。しかし、随所にローマ字読みの日本語が使われており、豊富な写真と対照すれば、内容が把握しやすいように記述されています。定価は税込み6090円ですが、会員は5000円で購入できます。ご希望の方は、海青社 (miyauchi@kaiseisha-press.ne.jp) に日本植生史学会の会員である旨を伝えて、ご連絡下さい。

◆第7期日本植生史学会役員(任期：2009年10月1日～2012年度大会)

会 長：南木陸彦

評議員：植村和彦、鈴木三男、高原 光、松下まり子、百原 新

幹 事：西田治文(事務局長)、那須浩郎(庶務)、工藤雄一郎(会計)、佐々木由香(広報・渉外)

編集委員会：能城修一(委員長)、大井信夫(副委員長)

行事委員会：近藤 敏(委員長)、藤井理恵(副委員長)

会計監査：江口誠一

事務局：

●連絡・問合せ 庶務幹事 那須浩郎 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)総合研究大学院大学学融合推進センター TEL:046-858-1598 FAX:046-858-1544 庶務：hbmain@hisbot.jp 会誌投稿：hbjournal@hisbot.jp

●NL編集、ホームページ・企業広告問合せ 広報・渉外幹事 佐々木由香 広報・渉外：hbnews@hisbot.jp

●入会・異動・退会の申し込み、バックナンバーの購入、メーリングリストアドレスの登録・変更、NL発行
〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内 日本植生史学会事務局

Tel:03-5307-1175 Fax:03-5307-1196 Mail：hisbot@univcoop.or.jp

●学会ホームページ <http://www.hisbot.jp/>